

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

| | | | |
|---|------------------------------------|----|-------|
| 所属名 | 労働委員会事務局 | 氏名 | 斎藤 浩美 |
| 派遣先 団体名 | 特定非営利活動法人 ほっと大東 (雲南市大東町新庄283-1) | | |
| ① 研修の日時 | | | |
| 平成24年7月30日(月) デイサービスゆけむりの里(介護保険事業) | | | |
| 7月31日(火) デイサービス新庄(介護保険事業) | | | |
| 8月2日(木) | | | |
| 8月3日(金) | | | |
| 8月8日(水) | | | |
| 8月10日(金) | | | |
| } ちゃれんじクラブ(学童預かり保育事業) | | | |
| ※ 研修時間はすべて8:30～17:15 | | | |
| ② 研修の内容 | | | |
| 7/30 デイサービスゆけむりの里(認知症対応型通所介護事業所) | | | |
| 初日はデイサービスでお年寄りとの会話やゲーム、昼食時の配膳の手伝いをしました。ゆけむりの里は認知症対応型のデイサービスを行っており、定員は12名で1日平均9～10名の来所があるそうです。研修当日は満員の12名のお年寄りを5名の職員の方が介護にあたっておられました。このサービスを利用するお年寄りは概ね要介護3～5の方で、研修当日も要介護5のお年寄りがいらっしゃいました。テーブルに着くとお年寄りの顔が全員見える家庭的な雰囲気が感じられました。 | | | |
| < デイサービスの1日 > | | | |
| デイサービスは、8時15分に運転手と介護職員の方が2人1組でお年寄りの迎えに出発されます。ほっと大東が運営する3つの介護事業所は隣接しているので、利用施設に関係なく地域ごとに送迎をされています。 | | | |
| 概ね8時半～9時までにはお年寄りの顔が揃います。職員による体温&血圧等の健康チェックの後、朝礼(あいさつ、集いの歌など)が行われます。 | | | |
| お茶とお菓子で休憩した後、お年寄りは各自でちぎり絵をしたり、カラオケをしたりします。この日は浅漬けにするキュウリとナスを切るお年寄りもいました。この時間に家族の依頼又は本人の希望があるお年寄りは順次入浴をされます。入浴介助はスタッフ(輪番制)2名で対応されますが、夏の暑い時期の入浴介助は大変な重労働であると思いました。家庭では入浴の介助ができないためデイサービスで入浴させてもらうというお年寄りも多く、中には入浴を嫌がるお年寄りもいらっしゃいますが、職員さんがうまく声がけをされて入浴をされるようです。家族の声がけよりも第三者のほうがよい場合もあるとのことでした。 | | | |
| 希望者全員(この日は12名中10名が入浴)の入浴が終わると、ほぼお昼になります。ご飯の前には口の体操を行い、咀嚼を促し誤嚥を防ぎます。職員もお年寄りに混ざって昼食を取り、必要なお年寄りには食事介助を行います。午前中に作った浅漬けも食卓に並びました。 | | | |
| 食事はゆけむりの里にある厨房で作られます。この厨房ではほっと大東が運営する3カ所の介護事業所で提供される昼食の全部と、児童預かり事業で提供される昼食を調理されます。介護事業所で提供される食事内容はお年寄りの状態によって刻み方、ご飯かお粥などが考慮されています。 | | | |
| 昼食後は2時まで休憩時間になります。お年寄りは横になって休まれますが、この間に職 | | | |

員さんは家庭への連絡ノートや記録を書いたりされます。私は一人のおばあさんが横になって休まっている間、おばあさんの手を握り隣で横になるよう職員さんから頼まれました。このおばあさんは痴呆症が進行しているため自宅へ帰りたいという意識が強く、職員さんが常時側に付いている方でした。誰かが近くにいると安心されて休まていました。

休憩時間が終わると体操をしてお茶と手作りのおやつをいただきます。その後は机の上でボールを使った遊びをしたりしました。

4時30分以降、朝と同じように3施設のお年寄りに地区ごとに乗車してもらい自宅まで送って行くのですが、施設の前に次々と十数台の車両が停車する光景は事業規模の大きさを感じさせるものでした。

7/31 デイサービス新庄(通所介護事業所)

新庄は定員が25名で研修当日のお年寄りは23名、職員は8名で介護職、看護職のほかリハビリを行う作業療法士の方もいらっしゃいました。当日は介護度が要支援2～要介護5のお年寄りがいらっしゃいましたが、ここの施設を利用される方は要介護1～2が多いということでした。昨日ゆけむりの里の職員の方に「新庄はまた雰囲気全然違いますよ」と言われていたのですが、利用者の人数も約2倍、お年寄りの間で頻繁に会話がされているなど昨日より活発な印象を受けました。

デイサービスの1日は昨日の研修先であるゆけむりの里とほぼ同じ日程でした。ここでも入浴サービスが行われ、ほぼすべてのお年寄りが入浴をされていました。ただし、昼食時間はお年寄りが食べているテーブルに座って見守りや声かけ(食事介助が必要なお年寄りはほとんどいない)を行い、職員はお年寄りが休憩時間の間に別室で食事をとり、その後カンファレンスが行われます。休憩が終わると、お年寄りが輪になって体操をしたり歌をうたったり、時には世間話をしながら和やかな時間を過ごしました。

夕方には、お年寄りを自宅まで送る職員さんに同行させていただきました。送迎時には職員が誰でも対応できるよう世帯ごとに「送迎時の決まり」、たとえば鍵のこと、荷物のことなど細かく記載された連絡カードが作成されています。同行させていただいたお宅は夫婦でほっと大東が運営する別々の事業所を利用し、二人だけで暮らしておられるそうです。少し離れたところに住む子供たちが様子を見に来るそうですが、基本的にはデイサービス、ヘルパー派遣、配食サービス等を利用しながら夫婦で生活しているとのこと。旧大東町でも高齢化が進み、デイサービスを利用される方も独居か夫婦のみ世帯が多いそうです。高齢化と核家族化により介護の現状が厳しくなりつつあることを感じました。

デイサービス新庄

デイサービスゆけむりの里



8/2, 3, 8, 9 ちゃれんじクラブ(学童預かり保育事業)

学童預かり保育事業を行う「ちゃれんじクラブ」は大東小学校の隣接地の元幼稚園舎を利用して開設されていますが、大東小の児童だけでなく町内他地域の小学校の児童も在籍しており、雲南市の委託事業として行っています。また、小学生だけでなく、幼稚園児の預かり保育事業も行っています。幼稚園児を預かる施設は園児数の減少のため使用していない大東幼稚園の空き教室を市から無償で借り受けています。指導員の方は全員幼稚園教諭または保育士の資格保有者で、長期休暇中は朝7時半から夜7時まで8人の指導員の方が時間をずらして日々交代で勤務されています。

<学童保育の一日>

- 7:30 開所時刻
～9:00 学習の時間 各自が持参した教材を使う。
9:00～ プール遊び 月・水・金は大東小のプールを利用、火・木はほっと大東の車で加茂のB&Gプール(1回50円)を利用
12:00～ 昼食(1食150円)
～14:00 室内で遊ぶ(ビデオ鑑賞、トランプ、花札、ブロック、遊戯室でなわとびなど)
14:00～ 希望者は屋外で遊ぶ(ブランコ、野球、一輪車、ままごとなど)
15:30～ おやつ(1食50円)

以後、迎えを待ちながら遊び。17時には幼稚園児が小学生と合流

- 18:30 閉所時刻(時々遅れる保護者もあるそうです)
19:00 施錠 職員の勤務終了

<1日ごとの主な研修内容>

8月2日(木)

午前中は子供たちが加茂B&Gのプールに行っている間、プールに行かない子供たちの相手をしながら、昼食の準備。今日のメニューは冷やし中華。麺にのせる具材はほっと大東の厨房で調理されたものが届きますが、麺を茹でてスープを作る作業はこの厨房で行います。この日は子供(小学生+幼稚園)が60食超、職員分を含めると概ね70食を準備しました。

8月3日(金)

9時までの学習時間の見守りが終わると、子供たちと大東小のプールに行き、プールサイドから子供たちの安全を見守ります。職員さんが1名プールに入って監視されます。しばらくすると幼稚園児もやって来て子供たちは大騒ぎでした。1時間のうち10分程度は休憩をとり、人数を確認して体調をチェックするなど監視が徹底されていました。午後は、室内の元遊戯室で長縄とびをしたりパズルをしたりしました。

8月8日(水)

水曜日はほっと大東が市内の高齢者を対象に実施しているミニデイサービスで昼食を提供するため、学童の昼食の対応がありません。そこで、ちゃれんじクラブでは長期休暇中の水曜日は「カレーの日」と決めてあります。2升炊きのガス釜を使ってご飯を炊き、大きな鍋に大量のカレーを作ります。午後は幼稚園児の預かり保育へ行き、園児たちとセミ取りをしました。

8月10日(金)

昼食のメニューは「かき揚げうどん」。初日同様に麺を大量に茹でて、厨房から届いたかき揚げなどの具材をのせて盛りつけます。午後2時までは屋外には出ず室内で遊ぶことに

なっています。この間、午前のプール遊びで疲れた子は休息をとります。冷房の使用時間は昼食時から休憩時までの11時半から午後2時となっています。

この日は研修最終日ということでほっと大東の事務所で理事長さんと研修の感想やほっと大東の今後の事業運営などについてお話をさせていただきました。

昼食の様子



ちゃれんじクラブ



③ 研修の感想

研修先の各施設をはじめ、どこの現場でも職員の方がいきいきと働いておられる姿が印象的でした。

理事長さんのお話では、ほっと大東では介護職員の離職率が低いのが自慢だそうです。介護に携わる職員さんは全員がヘルパー2級以上の有資格者で元看護師の方も多いそうですが、どちらかと言えばベテランの方が多いように感じました。

ほっと大東は法人化される際に金銭面や設備面で地域住民から多大な支援を受けており、そのことに大変感謝し、「地域のために」という強い思いを持って日々の活動をされています。

この研修に参加させていただき、現場で地域を支えておられる方々の努力を身近に感じ、大変貴重な経験をさせていただきました。今後は、現場で地域を支えて下さる方々のニーズに何らかの形で応えていくことを意識しながら職務にあたりたいと思います。

本研修の実施にあたり、事前打ち合わせから研修終了まで丁寧に対応いただいた理事長さんをはじめ、各施設で親切に指導していただいた職員の皆様に厚くお礼申し上げます。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

介護保険制度、介護サービスの種類や学童保育事業の内容などについては、予め多少なりとも把握しておいた方が、現場に入ったときに状況が理解しやすいのではないかと思います。